

12.25
ROADSHOW

この冬、
一番の思い出を
一緒に。

ジョゼと虎と魚たち

Josee, the Tiger and the Fish.

『交響詩篇エウレカセブン』『僕のヒーローアカデミア』

ボンズが贈る今冬最高の感動作！

やさしさも、涙も、憧れも、ぜんぶ。

ジョゼと虎と魚たち

Josee, the Tiger and the Fish.

中川大志 清原果耶

宮本侑芽 興津和幸 Lynn 松寺千恵美 盛山晋太郎 リリー
(見取り図)

原作：田辺聖子「ジョゼと虎と魚たち」(角川文庫刊)

監督：タムラコータロー

脚本：桑村さや香 キャラクター原案・コミカライズ：絵本奈央 キャラクターデザイン・総作画監督：飯塚晴子

コンセプトデザイン：Ioudraw (FLAT STUDIO) 劇中画：松田奈那子 プロダクションデザイン：平澤晃弘・片貝文洋・中村卓子

画面設計：川元利浩 美術監督：金子雄司 色彩設計：梅崎ひろこ 撮影監督：神林剛 3DCG監督：三宅拓馬 編集：坂本久美子

音楽：Evan Call 音響監督：若林和弘 音響制作：ソニールド

アニメーション制作：ボンズ

主題歌・挿入歌：Eve「蒼のワルツ」／「心海」(TOY'S FACTORY)

配給：松竹 / KADOKAWA 製作：「ジョゼと虎と魚たち」製作委員会 ©2020 Seiko Tanabe / KADOKAWA / Josee Project

12.25
ROADSHOW

第25回釜山国際映画祭 クロージング 上映作品

映倫
2021-4

青春恋愛小説の金字塔が遂に劇場アニメ化！

STORY

趣味の絵と本と想像の中で、自分の世界を生きるジョゼ。

幼いころから車椅子の彼女は、ある日、危うく坂道で転げ落ちそうになったところを、大学生の恒夫に助けられる。

海洋生物学を専攻する恒夫は、メキシコにしか生息しない幻の魚の群れをいつかその目で見るという夢を追いかけてながら、

バイトに明け暮れる勤労学生。そんな恒夫にジョゼとふたりで暮らす祖母・チヅは、あるバイトを持ち掛ける。

それはジョゼの注文を聞いて、彼女の相手をする事。しかしひねくれていて口が悪いジョゼは恒夫に辛辣に当たり、

恒夫もジョゼに我慢することなく真っすぐにぶつかっていく。

そんな中で見え隠れするそれぞれの心の内と、縮まっていくふたりの心の距離。

その触れ合いの中で、ジョゼは意を決して夢見ていた外の世界へ恒夫と共に飛び出すことを決めるが……。

鈴川恒夫

〔cv〕中川大志

大阪の大学に通う4年生。メキシコに生息する魚に魅せられ、海洋生物学を専攻している。卒業後に留学するべく、ダイビングショップをはじめいくつかのバイトを掛け持ち中。ジョゼと出会い、彼女の祖母からあるバイトを頼まれることになる。ジョゼいわく、「タダ飯食いに上がり込んで来たんや」。

ジョゼ（クミ子）〔cv〕清原果耶

愛読書にちなんで、自らを「ジョゼ」と名乗る。祖母とふたり暮らしで、車椅子で生活している。好きなことは本を読むことと絵を描くこと。ほとんどを家の中で過ごしているため外の世界への憧れが強く、魚のように好きな場所へ泳いでゆく空想に浸っている。可愛い見たと裏腹に口が悪い。恒夫いわく、「フワフワしたカッコしてるクセ、口を開くとチクチクチクチク。アマクサクラゲかよ!」。



二ノ宮舞〔cv〕宮本侑芽

恒夫がバイトしているダイビングショップの後輩。魚の水中写真を撮ることが好き。恒夫に想いを寄せているが打ち明けられずにいる。



松浦隼人〔cv〕興津和幸

恒夫と同年のバイト先の友人。お調子者でノリがいい。舞の恒夫に対する気持ちに気づいている。



岸本花菜〔cv〕Lynn

ジョゼが恒夫と共に訪れた図書館の司書。フアンワーズ・サガンが好きで、初めて出会ったジョゼと小説の話で意気投合する。



山村チヅ〔cv〕松寺千恵美

ジョゼの祖母。何かと頑固で「外は恐ろしい猛獣ばかり」が口癖。他人を避け長い間二人だけで暮らしていた。



諭吉

ジョゼの家にたびたび上がり込んでくる野良猫。

ジョゼと出会う

あなたもきっと、涙する——。

芥川賞作家・田辺聖子が1984年に発表した短編小説で、2003年に妻夫木聡・池脇千鶴主演で実写映画化もされた『ジョゼと虎と魚たち』。長年幅広く支持されてきた繊細にして鮮烈な名編が、この時代ならではの表現と魅力を持ったアニメーション映画となってスクリーンに登場。海外でも絶大な支持を受けている本作は、アジアを代表する映画祭である釜山国際映画祭のクロージング作品にも選出された。瑞々しく真つやかな純愛の中、お互いと自分自身を知って前に進んでいく姿が、切なさとしさ、痛みと喜びも交えて描き出される。主人公・恒夫を演じるのは、若手人気実力派俳優の中川大志。ジョゼには、活躍目覚ましい清原果耶。監督は、『おおかみこどもの雨と雪』助監督を務めたタム

ラコータロー。脚本を桑村さや香、キャラクター原案を絵本奈央、キャラクターデザイン・総作画監督を飯塚晴子が担当。アニメーション制作は数多くの人気作を手掛けてきたボンズ。また主題歌には、Eveが決定。約5億万回のMV総再生回数を誇る才能が、日常の痛みと喜びを飾らない言葉と洗練されたメロディで切り取る。

令和の時代にアニメーションとなって生まれ変わった『ジョゼと虎と魚たち』。人と人との距離、違い、触れ合い、そしてそこから自分を見つめ直すことが誰にとっても大きく重い意味を持つこの時代だからこそ、さらに心を躍らせ、心に染み入る一作ともなっている。今、出会うべき感動を『ジョゼと虎と魚たち』で知る——。

第25回釜山国際映画祭 クロージング 上映作品